

2024年 8月 7日

救急科の外来診療あるいは入院診療を受けられた患者さんへ

「小腸損傷とシンデカン1の関係性に関する研究」への協力のお願い

救急科では、下記のような診療を受けた患者さんの情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：2019年4月1日～2024年5月30日の間に、当科において、小腸損傷に対し入院、手術加療を受けられた方

研究期間：研究機関の長の研究実施許可日～ 2026年 3月 31日

研究目的・利用方法：小腸損傷は鈍的外傷の1%に発生する稀な病態です。しかし臨床所見、血液検査、CT検査でも正確な診断は困難です。

現在初療時から6-8時間後にフォローCTを撮影し、臨床症状や画像所見で悪化があれば手術を行うことが推奨されていますが、治療介入までの時間が早ければより合併症は減り救命率が上昇すると言われているため、迅速な診断、治療介入が重要です。

グリコカリックスは血管腔内で血管内皮細胞の表面を覆う多糖類や糖蛋白質で構成された構造物であり、敗血症や外傷などの侵襲で損傷を受けるとされています。

シンデカン1はグリコカリックスの構成成分であるコア蛋白の1種です。

診断な困難な小腸損傷の初療時のシンデカン1値の上昇を確認できれば、より早期の診断が可能となり、合併症の低減や救命率をあげることができる可能性があります。

研究に用いる試料・情報の項目：

治療等開始前の検査・評価項目

一般身体所見：血圧、体重、体温、P.S.

血液検査：白血球数、ヘモグロビン、血小板数、シンデカン1値

自覚症状、他覚所見、CT画像所見

手術内容に関して

入院日数

有害事象

これらは全て日常診療で実施された項目です。

研究に用いる試料・情報の利用を開始する予定日：2024/8/9

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりま

せん。本研究の内容や研究結果等について質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としないので、以下の連絡先まで申し出てください。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会において審査、承認され、研究科長・病院長の許可を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び岐阜大学に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

研究責任者

大学院医学系研究科医科学専攻生体管理医学講座救急・災害医学
氏名：岡田 英志

連絡先

大学院医学系研究科医科学専攻生体管理医学講座救急・災害医学
電話番号：058-230-6448
氏名：岡田 英志

【苦情窓口】

岐阜大学医学系研究科・医学部 研究支援係
〒501-1194
岐阜県岐阜市柳戸 1 番 1
Tel：058-230-6059
E-mail：rinri@t.gifu-u.ac.jp